

令和2年10月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和2年10月30日(金) 午後2時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室102、103

3 出席委員の氏名

教育長	山田公一	教育長職務代理者	山崎克弥
委員	中野信男	委員	秦久美子
委員	斎藤純郎	委員	小林恵子

4 説明のため出席した職員

教育次長	宮路一規	主幹	鈴木華奈子
学校教育課長	太田和行	子育て支援課長	白井健次
社会教育課長	石田進一	統括指導主事	大森亨

5 本委員会書記

学校教育課 向井康弘 他1名

6 傍聴人

なし

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第10号 共催・後援の教育長専決報告について

その他

## 8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午後2時29分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和2年9月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

○委員（齋藤 純郎）

キャリア教育講演会は、コロナウイルス感染症対策の関係でGood Jobつばめが実施出来ないために代替策として各中学校で実施したとのことだが、内容について教えてほしい。

○統括指導主事（大森 亨）

㈱コロナの稲田昭弘さん、㈱テレビ新潟放送網の加藤頌子さん、ダンサーの中澤利彦さん、㈱カンダの中川和治さん、㈱スノーピークの緑川翔太さん5人の方から講師として、それぞれ各中学校へ訪問してもらった。私はダンサーの中澤さんの講演を聞いた。「自分のやりたいことをとことん追求すると夢は叶えられる」という話をしていただいた。生徒たちは将来に向けた展望を持てたのではないかと感じている。

○委員（齋藤 純郎）

良い取り組みを実施したと思う。生徒の皆さんも将来自分の好きなことにチャレンジするきっかけになったと思う。来年度はぜひGood Jobつばめが実施出来ることを願いたい。

(2) 教育長報告

〈山田教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

○ このところ、朝晩を中心に気温も下がり、秋が深まってきたと感じている。各学校や公民館では、学習発表会や文化祭など、数多くの行事が開催されたり、計画されたりしている。これまでと同様、新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと行いながら、芸術・文化の秋、体育の秋を満喫してほしいと願っている。

## 2 校長面談

- 今年度2回目となる校長面談を、10月14日(水)、15日(木)、19日(月)の3日間かけて実施した。校長からは「自己申告シート」に基づき、教育活動全般に対するヒアリングを行った。
- 各学校とも校長を中心に、それぞれの抱える課題の解決・解消に向けて、取り組まれていることが確認できた。
- 学力向上については、NRTの結果に関わらず、「読解力の育成」が自校の課題であると捉えている校長が多かったと感じている。

## 3 10月の行事より

### (1) 学校訪問 (10月7日～)

- 就任後、初めての学校訪問を10月7日に行った。この日は、燕東小学校、燕北小学校、燕西小学校、燕北中学校、松長小学校の5校を回らせていただいた。できるだけ早い機会に、全ての小・中学校を訪問したいと考えている。

### (2) 玉川宣夫重要無形文化財保持者認定10周年記念作品展 (10月1日～11月15日)

- 10月10日、燕市産業史料館で開催されている玉川宣夫さんの認定10周年記念作品展を見学した。玉川さんは、鍛金の間人国宝であり、燕市の名誉市民でもある方。社会教育課の燕市文化財調査審議会の委員もお務めいただいている。この日は玉川さんが産業史料館に在館されており、私の教育長就任のご挨拶もさせていただいた。
- 「木目金」の作品を中心とした、玉川さんの素晴らしい作品の数々に魅了され、貴重な体験となった。なお、11月15日までの記念作品展開催期間中、燕市民は、産業史料館の入館が無料なので、多くの市民の皆さんから見てほしいと思っている。

### (3) 新潟県中学校長会研究協議会〈燕大会〉(10月16日)

- 10月16日に燕市を会場に開催された「新潟県中学校長会研究協議会〈燕大会〉」の開会式に、鈴木市長と一緒に出席させていただいた。
- 当日の開会式は、来賓として新潟県教育委員会の稲荷教育長、鈴木燕市長をはじめ、新潟県教育委員会の佐藤義務教育課長、長尾中越教育事務所長などが列席され、燕市文化会館大ホールを会場に、盛大に開催された。
- 稲荷県教育長に続いて祝辞を述べられた鈴木市長は、この大会が「新たな時代を切り拓き、よりよい社会をつくり出していく生徒を育てる中学校教育」を中心課題としていることを受け、「中学生には、解(答え)のない課題に対応しなければならない社会に出ても、生き抜くことができる能力を養ってほし

い。そのためにも、本日の大会が成果をあげられることを期待する」と校長先生方にエールを送られた。また、燕市産業史料館が県内外からの修学旅行先に選ばれていることに触れ、本大会のパンフレットを持参すれば産業史料館に無料で入館できるようにするとPRされていた。更なる修学旅行の誘致に期待したい。

(4) 第15回燕市美術展覧会（10月16日～19日）

- 第15回燕市美術展覧会が吉田産業会館を会場に開催された。
- 日本画、洋画、工芸・彫刻、書道、写真の5部門に、合計で115名の方々から応募いただき、入選・入賞された124作品の展示を行った。新型コロナウイルス感染症の影響からか、昨年よりも応募者数、応募点数は減ったものの、力作ぞろいの市展となったと感じている。
- 高校生では、書道部門2名、写真部門1名から応募をいただき、それぞれの部門で1名がスワロー賞を受賞された。応募された高校生の皆さんの頑張りに、拍手を送りたい。
- 18日に開催された授賞式は、密集を避けるため、前半（日本画部門、洋画部門、工芸・彫刻部門を表彰）、後半（書道部門、写真部門を表彰）に分けるなど、新型コロナウイルス感染症対策をとっての開催となった。
- 新型コロナウイルス感染症により、これまでと違って創作活動にも様々な制約があったと思われる中で作品の制作に励まれ、受賞されたことに、深く敬意を表したい。

(5) 交通安全横断手旗の寄附（10月21日）

- 燕市交通安全協会から交通安全横断手旗150本の寄附をいただいた。
- 当日は、燕市交通安全協会の小柳孝礼会長と佐藤邦彦事務局長が教育長室においてになり、小柳会長から目録を贈呈していただいた。寄附をいただいたことに感謝申し上げるとともに、児童の交通安全のために有効に使わせていただきたいとお伝えした。
- いただいた手旗は、各小学校から希望をとって配布する予定。

○委員（斎藤 純郎）

学校訪問の際の教育長から見た児童生徒の様子はどうだったのか。

○教育長（山田 公一）

訪問先の学校は、授業が特別騒がしいということもなく比較的落ち着いていると感じた。ただ若手の先生のクラスに関して、先生に少し余裕がなく表情も硬いように感じられたところもあった。

○委員（斎藤 純郎）

経験の浅い若手教員をマンツーマンで育成する仕組みを導入できないだろうか。指導力のある教員 OB から、それぞれ個々人の個性に合った適切なアドバイスをもたうことができれば、若手教員は成長するのではないだろうか。検討してほしい。

○委員（小林 恵子）

学校訪問の際、新型コロナウイルス感染症対策としてのマスクの着用率はどうだったのか。

○教育長（山田 公一）

みんなマスクを着用しており、徹底していると感じた。

### （3）寄附報告

2 件の寄附について

〈No.1、2 について太田学校教育課長が説明〉

### 4 専決処分の報告について

報告第 10 号 共催・後援の教育長専決報告について

1 件の後援申請について

〈太田学校教育課長が説明〉

5 閉 会            午後 2 時 55 分

燕市教育委員会会議規則（平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号）第 17 条第 2 項の規定により会議録に署名する。

令和 2 年 12 月 7 日

教 育 長 山 田 公 一

教 育 委 員 山 崎 克 弥

教 育 委 員 甲 冨 信 男

教 育 委 員 秦 久 美 子

教 育 委 員 斎 藤 純 郎

教 育 委 員 小 林 恵 子

会 議 録 作 成 職 員 竹 田 亮 子